

# 防災

令和5年9月1日

No. 165

## 消防署訓子府支署 訓子府消防団 危安協訓子府部会



防災の日は、災害についての認識を深めそれらの災害対処する心構えを準備するために昭和35年に制定されました。9月1日という日付は今から100年前、1923年9月1日に関東大震災が発生し、大きな被害をもたらしたこと、8月から9月にかけて台風の接近、上陸が多いことに起因します。この時期は災害の発生が多いため、万が一の事態について考える時期といえるでしょう。

### 大雨の被害に警戒を！！

7月から10月にかけて日本に接近・上陸する台風が多くなり、大雨、洪水、防風、川の氾濫、土石流、地すべりなどが発生しやすく、人々の生活が脅かされるような自然災害がたびたび発生しています。近年では短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨が頻発し、川の急激な増水が生じたり、道路や住宅の浸水といった被害が発生しています。また、雨で増水した川や田んぼを見に行き流されてしまったり、浸水した道路で側溝の境界が見えにくいために転落したりする事故も発生しています。

## 災害時の避難所を確認してください！

### 指定緊急避難場所

- ・中央公園
- ・訓子府町認定こども園グラウンド
- ・訓子府小学校・中学校グラウンド
- ・訓子府高等学校グラウンド
- ・公民館駐車場
- ・農村公園
- ・末広地域集会場
- ・居武士小学校グラウンド
- ・日ノ出地区ふれあいセンター広場
- ・児童センターグラウンド

### 指定避難場所

- ・鉄北地域集会場
- ・訓子府高等学校
- ・訓子府中学校
- ・訓子府町子育て支援センター
- ・西地域集会場(勤労福祉会館)
- ・農業交流センター
- ・訓子府小学校
- ・訓子府町児童センター
- ・末広地域集会所
- ・日ノ出地区ふれあいセンター
- ・穂波会館
- ・居武士小学校
- ・緑丘生活館
- ・開成公民館
- ・豊坂公民館
- ・西富会館
- ・駒里公民館
- ・高園会館
- ・訓子府町公民館
- ・訓子府町認定こども園
- ・長寿会館
- ・柏丘会館
- ・実郷会館
- ・協成公民館
- ・常盤公民館
- ・清住会館
- ・北栄集会所
- ・福野地域集会所

### 風水害発生の恐れがある時は・・・

大雨・長雨

状況を把握する  
・ラジオやテレビ、役場からの情報などで最新の気象情報を入手する。

警報などの発表

避難準備をする  
・非常持出品や避難所・避難経路の確認をする。役場からの品案呼びかけに注意する。

避難勧告等の避難情報の

避難を始める  
・ガス、電気、火元の確認。  
・避難開始。  
・安全な避難を。

自宅で待機するときは・・・

無理に避難するよりも2階など高いところにとどまる方が安全な場合もあります。状況の応じて適切に判断しましょう。

全国標語

火を消して 不安を消して つなぐ未来

組合標語

消しました？ 確かめ合いの ひとことを

【火事・救急・救助は 局番なし『119番』】



## 非常用持ち出しバックの準備、できていますか？

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに取りだせるようにしておきましょう。

### 災害の「備え」チェックリスト

- 水
- 食品  
ご飯（アルファ枚など）、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど最低3日分の用意
- 防災用ヘルメット、防災ずきん
- 衣類・下着
- レインウェア
- 紐なしのズック靴
- 懐中電灯（※手動充電式が便利）
- 携帯ラジオ（※手動充電式が便利）
- 予備電池・携帯充電器
- マッチ・ろうそく
- 使い捨てカイロ
- 救急用品  
（絆創膏、包帯、消毒液、常備薬など）
- ブランケット

- 軍手
  - 洗面用具
  - 歯ブラシ・歯磨き粉
  - タオル
  - ペン・ノート
- 感染症対策にも有効です！！
- マスク
  - 手指消毒用アルコール
  - 石けん・ハンドソープ
  - ウェットティッシュ
  - 体温計
- 一緒に持ち出そう！！
- 貴重品



### 備蓄品

- 食料や水(最低3日分！できれば1週間分)×家族分  
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食糧の備蓄が可能！
- 生活用品  
例えば、ティッシュ、トイレトペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ... など



## 救急車の適正利用にご協力をお願いします



近年救急件数は全国的に増加傾向となっています。病気やけがの程度が軽い方を救急搬送することで、緊急性の高い重篤な方への対応が遅れてしまうこともあります。

119番通報する前に、救急車が本当に必要か、自家用車やタクシーなど一般の交通機関を利用できないか、もう一度考えてください。

※ただし、命にかかわる病気やけがで緊急に病院へ行かなければならない場合は、迷わず119番通報してください。

**救急車は地域の限られた救急資源**です。

町民皆様のご理解とご協力をお願いします。

